

Center for International Education, Waseda University

STEP OUT INTO THE WORLD

早稲田大学 留学センター

Waseda Global Gate
(早稲田キャンパス 22号館 1階)

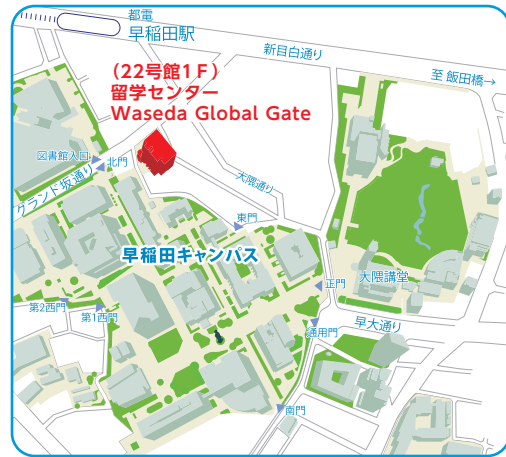
開室時間 10:00～17:00 (土日祝除く)

相談・手続き対応 12:00～17:00

ただし、夏季・春季休業中は次のとおり
開室時間：9:00～16:00(月・水・金)
相談・手続き対応：12:00～16:00

TEL.03-3208-9602

www.waseda.jp/inst/cie



Center for International Education, Waseda University

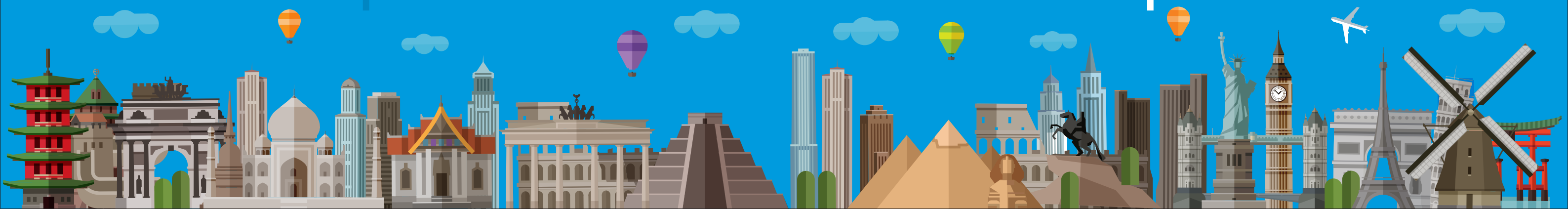
STEP OUT INTO THE WORLD

海外留学ガイド



It's time to explore the world!

It's time to explore the world!



It's time to explore the world!

はじめに

Introduction

こんにちは!もしあなたが学生でこれを読んでいるのだとしたら、きっと留学を考えていることでしょう。もしそうだとしたら、是非ともそうしてください!

外国で勉強するということはたくさん成長して学ぶことができる、ということです。留学は最も貴重な教育法のひとつであり、母国に帰ってから何年経とうが異文化との出会いはいつまでもあなたの人生の大切な一部であり続けることでしょう。

留学を予定している人たちもよく口にする、留学で明らかに得るものと言えば外国語が上達する、友人や家族がいる快適で問題のない日常から離れて生活することによってより自立した精神的に強い人間になれる、などが挙げられます。

これらはもちろん嬉しい留学の目的だと思いますし、大抵の場合留学によってそのようなことを身につけることもできるでしょう。しかし、それだけを興味の中心にしてしまうと豪華なごちそうを目の前にして「タンパク質と食物繊維をたくさん摂取できそうだな」と考えてしまうようなものです。語学力や強い精神力を得ることはもちろんできますが、それらよりもっと豊かなものを手に入れることができるのです。ただ、留学によって得るものの本質をうまく説明するのは難しいです。

ある例え話が私の言いたいことをうまく要約してくれていると思います。有名な作家のデヴィッド・フォスター・ウォレスは2005年、ケニオンカレッジの卒業式でスピーチをしました。冒頭で以下のような短くて変わった逸話を話しました。

「ある二匹の若い魚が並んで泳いでいたところ、向こうから年上の魚が泳いできて会話をしながら『おはよう。水の具合はどうだい?』と尋ねました。二匹が少し泳いだところで、一匹の若い魚がもう一匹の若い魚に話しかけた。『水ってなに?』」

ウォレスの説明によれば「最も当たり前で大切な真実は大抵、最も理解したり話題にすることが難しい」のだそうです。魚は一生を水の中で過ごしますが、水を意識することはありません。すぐそこにある、水以外のものを想像することもできません。

私たちが育っていく過程で身の回りにあった文化は魚にとつての水と同じです。いわゆる金魚鉢の外に出ない限り常に私たちの周りに存在し、あまりにも自然で不可欠なものだからちゃんと認識することが全くできないのです。

留学した時、最も大きな課題となるのが異なった環境に身を置くことです。あなたの「水」はこれまでとは違う、不透明に見えるものになってしまう。泳ぐのが難しくなり、なんだか変な感じ。でも新しい環境の中でうまくやっていくことを覚えると、とても気分がいいものです。インターネットの時代になるずっと前に私が日本に留学生として来ていた時、初めて一人で日本の電話帳の中に目的の電話番号を見つけた時の高揚感は今もよく憶えています。

しかしそれ以上に、あなたは長年自分の中にありながら気づいていなかった多くの文化的規範やふるまい方を認識することとなるでしょう。

これは留学先の国だけでなく世界全体から学び、関わる能力を飛躍的に高くさせます。このようにして真のコスモポリタン、または日本人がよく使う言葉の「グローバル人材」になるのです。この機会を逃さず、早稲田大学在学中にぜひとも留学を経験してください。

早稲田大学 留学センター 所長
Kate Elwood



TIME	FLIGHT	DESTINATION	STATUS
10:00	EX001	LONDON	DEPARTED
11:00	CS002	FRANKFURT	DEPARTED
12:00	DD003	PEKING	DEPARTED
13:00	EX004	SYDNEY	ON TIME
14:00	EX005	NEW YORK	ON TIME
15:00	CS006	LOS ANGELES	ON TIME
16:00	DD007	SINGAPORE	ON TIME

INDEX

- 01 Introduction
- 02 自分にあつた留学プログラムを見つけよう!
- 03-04 Global Partnership ~早稲田大学の海外協定大学~
- 05-06 留学するなら早稲田のプログラム!
- 07 留学ロードマップ
- 08 モデルケース
- 09-12 留学先の選び方
- 13-14 プログラム紹介 EX-R EX-L

- 15-16 プログラム紹介 1年間の CS-R CS-L
- 17-18 プログラム紹介 1セメスターの CS-R CS-L
- 19-20 プログラム紹介 DD
- 20 プログラム紹介 CAMPUS Asia
- 21-22 プログラム紹介 短期
- 23 留学情報の集め方
- 24 海外留学奨学金・教育ローン
- 25-26 留学とキャリア

自分にあつた留学プログラムを見つけよう!

早稲田大学の約700校の海外協定大学は世界80を超える国と地域に広がり、さまざまな留学プログラムを提供しています。大きく分けると主に春休みや夏休みを利用する短期プログラム、1セメスター(学期)の中期プログラム、そして1年~2年の長期プログラムに分類されます。みなさんのニーズや予算にあつたプログラムがきっと見つかるはずですよ!

現地学生と共に学ぶ 留学の定番・交換留学

EX-R プログラム 1年(原則) 早大学費等

協定大学へ交換留学生として留学する。現地学生とともに通常科目を学ぶに足る高い語学力が必要。早大への学費支払いで参加できるため、比較的費用がかからないプログラム。1校あたり1~5名程度。 **▶ P.13**

語学力初級でも参加可能な 交換留学

EX-L プログラム 1年 早大学費等

協定大学付属の語学学習機関でじっくりと集中して語学力を磨く交換留学。現地学費はかからないため比較的低い予算で留学できるのが魅力。1校あたり1~5名程度。 **▶ P.13**

現地学生と同じ 科目を履修

CS-R (1Y) プログラム 1年 協定大学の学費等

通常科目を学ぶ点で交換留学(EX-R)と同じだが、学費の取り扱いが異なる。海外の有名大学でのプログラムが比較的多く学費はやや高め。1校あたり1~10名程度。 **▶ P.15**

充実のサポートで 語学と現地科目の学習が可能

CS-L (1Y) プログラム 1年 協定大学の学費等

応募時は比較的語学力が低くても出願可能。外国語学習を中心に語学レベルに応じたカリキュラムを履修できる。現地サポートが手厚いのが魅力。1校あたり5~30名程度。 **▶ P.15**

現地学生と同じ科目を 1学期間だけ履修する

CS-R (1S) プログラム 半年 協定大学の学費等

内容は1年間のCS-Rプログラムと同じで最初から現地のカリキュラムに沿って科目履修をする。1年間は留学できないが海外体験をしたい方におすすめ。プログラムによっては語学スコア不要!1校あたり1~10名程度。 **▶ P.17**

半期の語学学習として おすすめ

CS-L (1S) プログラム 半年 協定大学の学費等

内容は1年間のCS-Lプログラムと少し異なり、基本的には外国語学習のみ。プログラムにもよるが概ね3~5ヶ月ほどみっちり語学学習ができるのが魅力。プログラムによっては語学スコア不要!1校あたり5~20名程度。 **▶ P.17**

早大と協定大学の学位が 取得できる

DD プログラム 1~2年 早大学費等

早大学位と留学する協定大学の学位が取得できるハイレベルプログラム。海外名門大学への留学であり高い語学力と成績が求められる。1校あたり2~20名程度。 **▶ P.19**

語学学習、文化体験を重視 まずは海外経験、という方へ

短期留学プログラム (春・夏季) 1~7週間 研修旅行代金

海外に興味はあるが、中期や長期は予算的にちょっと、または敷居が高く感じて不安だという方におすすめ。年間で約50プログラムを実施。1プログラムあたり3~30名ほどが参加可能。 **▶ P.21**

留学先大学の情報や 応募要件を検索してみよう!
海外留学プログラムリスト

早稲田 プログラムリスト

プログラム名略称	プログラム名	種別	期間
EX-R	Exchange Programs	Regular Academic Programs	1年(原則)
EX-L		Language Focused Programs	1年(原則)
CS-R (1Y)	Customized Study Programs	Regular Academic Programs	1年(原則)
CS-L (1Y)		Language Focused Programs	1年(原則)
CS-R (1S)	Customized Study Programs	Regular Academic Programs	半年(原則)
CS-L (1S)		Language Focused Programs	半年(原則)
DD	Double Degree Programs	Regular Academic Programs	1~2年(原則)

※本パンフレットの掲載情報は2018年2月末時点のものです。最新の情報は、留学センターWebページを確認してください。

留学するなら早稲田のプログラム!

早稲田大学の留学の特長やサポートについてご紹介します。

Waseda Global Gate (WGG) で情報収集

早稲田キャンパス 22号館 1階にある WGG は、留学センターが運営する、みなさんが個別相談や情報収集するためのスペースです。

早稲田大学の留学制度や留学への応募方法に詳しい常駐スタッフが丁寧に相談に乗ります。事前予約は不要ですのでいつでもお越しください!

基本的に学期期間中の平日は毎日開室していますが、詳しくは留学センター Web ページにて確認してください。



留学センターが出願のサポートをします!

海外の大学への出願手続きはしたことがなく不安だ、というみなさんがほとんどだと思います。

留学センターでは出願や現地での宿舎(学生寮やホームステイ)の手続きが滞ることがないように、みなさんの手続きをサポートしますので安心して応募してください。その他、日常的にみなさんからの問合せ対応や、出発前のオリエンテーション等を通じてみなさんに必要な情報をタイムリーに発信するよう心掛けています。



安心の危機管理体制で留学生生活をサポートします!

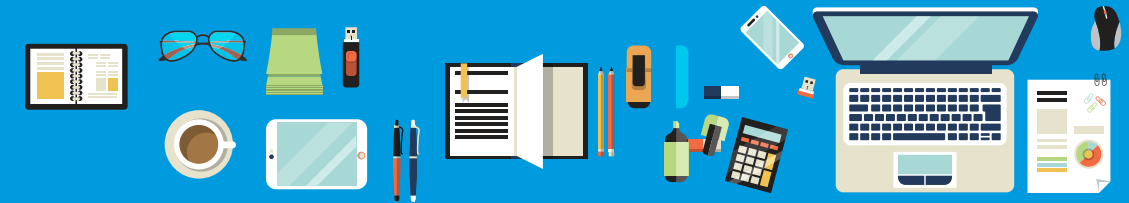
海外での生活は盗難等の予期せぬトラブルが起こったり、慣れない文化・生活習慣の環境下で病気になったり、不安になったりと様々なことが起こります。

早稲田大学の留学プログラムにて海外留学をする場合、参加者は指定の海外旅行保険と海外用レンタル携帯電話サービスに必ず加入します。

さらに、病気の際の病院紹介や、所持品が盗難に遭った場合の対処、さらには生活上の相談まで、早大生専用のサポートデスクが 24 時間 365 日体制でみなさんの留学をサポートします。また、地震などの災害や大きな事故・事件の発生時には個別に安否確認を実施するなど、状況に応じた対応を行っています。

世界に広がるネットワークが魅力! 約 600 のプログラムから選べます

とにかく選択肢が多いのが早稲田の留学の特長です。早稲田大学の海外ネットワークは、日本の大学の中では群を抜いて充実しており、1~4 週間ほどの語学研修や文化体験プログラムから海外大学の学位を 1~2 年かけて取得するダブルディグリープログラム、教養重視の少人数制クラスのリベラルアーツカレッジ、早稲田のような大規模大学、世界に名立たる名門大学への交換留学まで、とても多彩なプログラムが整備されています。きっとみなさんのニーズにマッチしたプログラムを見つけることができ、早大生だからこそできる留学がたくさんあります。



留学準備講座で留学前の語学力向上を支援

留学センターは、みなさんの語学力についても全力でサポートします!

留学前に少しでも高い語学力を身につけるため、または行きたい留学先大学の語学力条件をクリアするために留学準備講座(英語)を随時実施しています。

また、早稲田大学には TOEFL iBT® のテストセンターがありますので、年間を通じて TOEFL iBT® の試験を学内で受けることができ、早大生のみなさんは優先的に予約をすることも可能です。



学生留学アドバイザーが活躍しています!

留学センターには、留学から帰国した学生で構成される「学生留学アドバイザー」という団体があります。年間を通して様々なイベントや個別相談を実施しており、後輩学生のための留学促進活動をおこなっています。実際に海外留学を経験したアドバイザーたちの情報はとても役に立つはずですので、ぜひアドバイザーのイベントや個別相談を利用して交流・情報収集をしてください。



Facebook や Twitter で最新情報を公開中!

SNS を通じて、学生の体験談や、イベントに関する情報を提供していますので、みなさんのスマートフォンからお気軽にチェックしてください。役立つ情報があったら、いいね! やシェアをしてくださいね!

早稲田大学 留学センター
Facebook



早稲田大学 留学センター
Twitter



海外大学で取得した単位を早稲田大学の単位として認定します

「留学すると卒業が遅れるのでは?」といった不安があるみなさんもきっといると思います。早稲田の留学プログラムにて留学した場合、海外大学で履修した科目の単位を所属の学部・研究科の単位として認定しますので、多くの学生が 1 年間の留学を経たうえで、学部生の場合は 4 年間で卒業しています。一方で、卒業に 5 年かかる可能性もありますので、留学を考えると同時に、卒業まで 5 年かかる場合の学費等についてもよく考えておくことが大切です。

認定される単位数は所属学部・研究科により異なります。

留学ロードマップ

今のあなたは、どこにいますか？
これから何をすべきで、どこに向きたいのかを考えてみましょう。

留学への意識が芽生えたら

■ 将来設計を立てる

将来のために留学が必要！

出発1年半以上前

「留学の思い」の具体化

- 留学目的の明確化
- 保証人への相談・共有
- 留学プログラムの情報収集

- 留学のイメージが描けましたか？
- 次に必要な具体的な準備が見えてきましたか？

～出発1年前

具体的準備 (越えるべきハードル)

- 学業成績
- 経済力・資金計画
- 語学力
- 留学準備講座

- ハードルを越えるための計画は具体的ですか？
- ハードルを越えられましたか？

出発8～9ヶ月前

学内選考 (出願書類提出および学内審査)

- TOEFL®、IELTSなどの語学能力証明書 (※一部不要なプログラムも有)
- 学習研究計画書
- 英文成績証明書など提出

学内選考未決定

選出されなかったり、
受入許可が下りなかった場合・・・

▶ 可能ならば、再挑戦の準備へと
気持ちを切り替えましょう。

出発3～6ヶ月前

留学候補大学での受入審査

- 各大学指定の出願書類提出

● 重要な手続きです。慎重に進めましょう。

出発直前～5ヶ月前

出発諸準備

- ビザ取得
- 現地宿泊先手配
- 航空券手配
- 各所属事務所での手続き など

留学生活

健康、安全に気をつけて
充実した留学にしましょう。

帰国

各所属事務所・留学センターなどに対して、帰国報告、
単位認定などの必要手続きを速やかに行ってください。

自分の留学体験を振り返ってまとめてみましょう。体験記を書いたり、学生留学アドバイザーになって
次に留学する学生のサポートをすることは、大変良い経験になります。

モデルケース

留学センターの1セメスター以上の長期プログラムは留学先大学の受け入れ時期に合わせて、年間に2回の留学募集選考を行っており、
出発時期もプログラムによって春出発、秋出発の2パターンがあります。手続きなどの詳細については次ページ以降に掲載しています。
以下に、留学を含めて4年間で卒業を目指すモデルケースをご紹介します。
一部のプログラムを除いて、選考は留学に出発する1年前に行いますので、早めに準備を進めることが重要です。

春 出発

	1年次	2年次	3年次	4年次
留学センターへの申請		4～5月 学内選考出願	留学先決定後、 随時留学先大学 へ出願するための 各種手続き	帰国後の諸手続き
学業生活	学内選考出願準備	留学準備	2～3月より12～1月まで 留学 (約10か月)	単位認定 就職活動
				3月卒業

秋 出発

	1年次	2年次	3年次	4年次
留学センターへの申請		10～12月 学内選考出願	留学先決定後、 随時留学先大学 へ出願するための 各種手続き	帰国後の諸手続き
学業生活	学内選考 出願準備	留学準備	7～9月より5～6月まで 留学 (約10か月)	単位認定 就職活動
				3月卒業

留学の心構え

留学に際しての心構えをまとめました。「留学したい!」と思い立った時から、
出願、留学中そして帰国後に分けて図示しています。ぜひ、参考にしてください。

留学出願準備

- ①留学に行きたい!と思い立ったら、まず、留学の目的とその目的を達成するための具体的な条件を考えてみましょう(どの国・地域へ、何年生で、どれくらいの期間留学したいのか)。
- ②留学センターWebページ、Waseda Global Gate、留学フェアなどのイベントで情報を収集し留学プログラムを選びましょう。留学プログラムが決まると、「出願時期」、「学業成績や語学力などの出願条件」、「必要資金の目安」が具体化します。
- ③それに合わせて、語学試験の受験や資金の計画など、具体的な準備に進んでください。

留学準備

- ①留学センターの学内選考に出願し、留学候補大学が決定した後は、留学候補大学への正式な出願手続きを行います。「入学許可」が届いたら、各自渡航に必要なビザを申請します。さまざまな書類の提出が必要になってくるので、締切を守るよう、余裕を持って準備してください。
- ②さらなる語学能力の向上やアカデミックスキルを身につけられるよう、学業面での準備も必要になってきます。
- ③生活面においても、留学期間に合わせて必要なものを準備しておきましょう。

留学中

- ①留学中は、目標を持って様々なことにチャレンジしてみてください。海外で慣れない言語での学習はストレスも多いでしょうが、くじけずに続けることが大切です。ただし、困ったことがあれば、留学先大学や留学センターについても相談してください。
- ②ボランティアやインターシップなど、課外活動にも積極的に参加すると視野が広がり、より幅広い人脈を築くことができます。留学中に知り合った仲間は生涯を通して大切な財産になります。

帰国後

- ①帰国報告書を提出してください。自らの留学経験を振り返る良い機会であると共に、後輩にその経験を伝えるためのものでもあります。
- ②帰国した後は、卒業後の進路について考える時期になります。留学の経験を生かして、自分の将来設計をしてください。
- ③語学力の保持や留学中にできた人脈を大切にするなど、自らの工夫次第で経験をさらに活かすこともできます。
- ④留学センターでは「学生留学アドバイザー」の登録を受け付けています。後輩のために自分の経験を伝えるボランティア活動も、自らの留学経験を大いに活かせる場です。

留学先の選び方

早稲田大学が提供する留学プログラムは約600以上にのぼります。何を基準にして、自分に合った留学先を探せばよいのでしょうか。その例として挙げられるのが「国・地域」「言語」「予算」「目的」です。それぞれのポイントをご紹介します。

国や地域から選ぶ

早稲田大学の協定校のネットワークは全世界に広がっています。それぞれの国や地域の特徴を知り、自分自身の留学目的と照らし合わせながら、選択肢を絞っていきましょう。



全世界から多種多様な人が集う、刺激に満ちた環境

北米

North America

アメリカは、人種・性別・年齢・宗教を問わず、教育を受けられるシステムが整っているため、留学生の国籍も多彩。文化やアート、スポーツに触れる機会も充実しています。カナダは、環境の良さや治安の良さが特徴。豊かな自然に恵まれ、アウトドアアクティビティも盛んです。

■ メリット

- ・さまざまな人種や民族が暮らしているため、留学生もなじみやすい
- ・高等教育の水準が高い
- ・リベラルアーツカレッジから総合大学まで、留学先の選択肢が多い

■ こんな人におすすめ

- 「世界各国の人と知り合いたい」
- 「専攻分野に関する最先端を学びたい」
- 「憧れの名門大学の授業を受けてみたい」



豊かな大自然やフレンドリーな気質も魅力

オセアニア

Oceania

オーストラリアやニュージーランドは多民族国家であることから、一般的に留学生に対してもフレンドリーだと言われています。留学生にとっては学びやすい環境であり、教育レベルの高さにも定評があります。年間を通して温暖な気候も魅力です。欧米と異なり、2~3月に出発し、12~1月に帰国する春募集・春出発のプログラムが豊富です。

■ メリット

- ・自然に恵まれた、ゆったりとした環境
- ・さまざまな人種や民族が暮らしているため、留学生もなじみやすい

■ こんな人におすすめ

- 「春から英語圏に留学したい」
- 「英語圏に行きたいが、欧米とは異なる文化体験がしたい」
- 「温暖な気候と自然あふれる環境の中で勉強・生活したい」



それぞれの国に豊かに息づく歴史・文化・芸術が魅力

ヨーロッパ

Europe

ヨーロッパには長い歴史と伝統を誇る名門大学が多く、勉強に打ち込むには好適な環境と言えます。芸術や文化が人々の生活に根付き、芸術作品に触れる機会が身近にあるのも魅力。歴史が薫る美しい街並みも随所で目にする事ができます。ヨーロッパ各国は鉄道や飛行機のネットワークが充実しており、気軽に近隣国へ旅行に出かけることも可能です。

■ メリット

- ・英語プログラムが豊富で、選択肢が多い
- ・長い歴史と豊かな文化に触れられる
- ・通貨が共通で、近隣国への往来も容易（ユーロ加盟国）

■ こんな人におすすめ

- 「英語のほかにもう1つ言語を学びたい」
- 「留学先の国以外もあちこち訪れたい」
- 「歴史や芸術・スポーツに関心がある」



ダブルディグリー (DD) など、多彩なプログラムが魅力

東アジア

東アジアの大学は、早稲田大学の歴史の中でも長く交流の実績があります。英語での留学もできますが、大陸ならではの文化に触れながら、第2外国語として皆さんが履修している中国語や朝鮮語の能力を伸ばしてみたいかがでしょう。現地語や英語のEX、現地語学習のCSに加えてDDもあり、プログラムの種類も豊富です。

■ メリット

- ・ 経済発展著しい地域ならではのダイナミズムを感じられる
- ・ 学費や生活費、渡航費が比較的安く抑えられる

■ こんな人におすすめ

- 「第2外国語を伸ばしたい/第2外国語で勉強したい」
- 「ダブルディグリープログラムに挑戦したい」



成長のエネルギーに満ちたエリアでグローバルマインドを磨く

東南アジア・インド

世界の中でも発展著しい東南アジアやインド。米語や英語とは違う「グローバル・イングリッシュ」や現地の言葉に触れることで、コミュニケーション能力やタフな適応能力を養う機会にもなるでしょう。日系企業が多数進出しているこの地域への留学は、将来世界で活躍したい人にもぴったりです。アジアらしさの中にもフランスの伝統が薫るベトナムや、近代的な建物と寺院が共存するタイ、成長を間近に感じられるインドなど、感性を刺激されることでしょう。一般的に物価も安く、留学費用を抑えられることや、日本との時差が小さいことも魅力です。

■ メリット

- ・ グローバル・イングリッシュを学べる
- ・ 多文化・多宗教に触れられる
- ・ 学費や生活費、渡航費が比較的安く抑えられる

■ こんな人におすすめ

- 「誰とでもコミュニケーションをとれる英語を身に付けたい」
- 「将来はアジアを舞台に活躍したい」
- 「成長著しい国の雰囲気を感じたい」



その他の地域

早稲田大学の協定校は南米やアフリカ、中東地域にもあります。プログラムは限られますが、チャレンジ精神があり、個性的な留学をしたい人におすすめです。

East Asia

Asia

言語から選ぶ

留学は語学力を磨くチャンス。「どの言葉を身につけたいか」を基準に留学先を選ぶのも一つの方法です。



Hello
Guten Tag Bonjour
Oi Привет 你好
Ciao

中国語圏：中華パワーの源へ！

母語人口の多さでは、英語を抑え、中国語が世界第1位です。日本企業の中国進出も進み、中国語話者の需要は高まると予想されます。留学先としては中国大陸の各都市に加えて、香港、台湾が挙げられます。また、華僑コミュニティが形成されている東南アジア各国でも、中国文化に触れられる機会があります。

非英語圏でも英語で学べる！

非英語圏でも英語で授業が行われる大学は多く、グローバル・イングリッシュを学ぶことができます。日常生活では現地語を使うため、英語に加え現地語も学んでみたいという人におすすめです。アジア・ヨーロッパの非英語の国のほとんどで、英語プログラムが提供されています。

英語圏：目指せグローバル人材！

留学先として圧倒的人気を誇る英語圏。近年は新興国でもビジネスの場面において英語は重要なコミュニケーションツールとなっています。将来グローバルな仕事に携わりたいと考える人にとって、英語力は必須となります。早稲田大学では、イギリス・北米・オセアニア各国の豊富なプログラムから留学先を選ぶことができます。

非英語圏：一足お先にマルチリンガル！

英語をすでに身につけ、「もう1つ言語を勉強したい」という人におすすめです。早稲田大学では非英語圏の大学と多くの協定を結んでいるので、言語の選択肢は豊富。非英語圏のプログラムには、フランス語やドイツ語をはじめ、ロシア語や朝鮮語などもあります。スペイン語・中国語など、英語以外の語学を学べる短期プログラムも実施しています。

予算から選ぶ

留学にかかる費用は、行き先の国や地域、あるいはプログラムによって大きく異なります。あらかじめ予算計画を立てましょう。



まずは試しに短期留学プログラム！

夏・春休みを利用して海外を体験するには、短期留学がおすすめです。特にアジア圏は費用が比較的安く、中には10万円ほどで留学できるプログラムも。まずは近場で異文化体験を味わい、その後の長期留学につなげるのもいいですね。費用を抑えた数多くのコースを用意していますが、留学先の国や大学、期間によって費用はさまざまです。

費用はなるべく抑えたい！

留学先というと、北米やヨーロッパなど物価の高い国のイメージがありますが、アジア地域では物価が比較的安く生活費が抑えられます。アメリカやイギリスでなくても、アジアの協定大学の多くが英語プログラムを提供していますので検討してみましょう。また、同じ国に留学する場合でも、都市部と地方とはかかる費用が異なりますので賢く選びましょう。

学費相互免除で交換留学？それともCSプログラム？

長期留学の中でもEXプログラムなら早稲田大学の所属学部・研究科に学費を支払うことで留学先大学の学費が免除になります。一方で、CSプログラムでは留学先大学へ学費を支払い早稲田大学の学費が免除になりますので、希望するプログラムの費用を確認することが重要です。

予算に縛られず留学を考えたい！

「高額でも、有名大学に行ってみよう」と思う人はオックスフォード大学やイエール大学、ペンシルベニア大学などの、世界中から優秀な学生が集まる大学で切磋琢磨するプログラムも検討してみるといいでしょう。

■ 奨学金についてはP24をご覧ください。

目的から選ぶ

「留学先で何がしたいか」をとことん突き詰めて考えてみるのも大切です。その目的を実現できる留学先を見つけましょう。



アカデミック重視型 (DD・EX-R・CS-R)

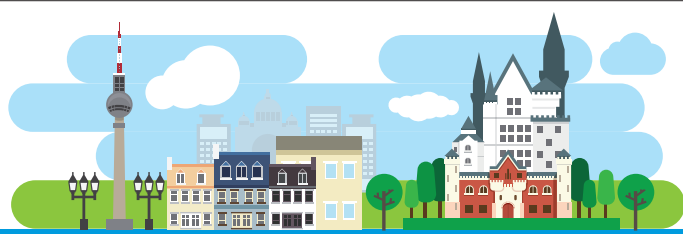
単位取得、ダブルディグリーなど、専門科目に重きを置いた留学です。早稲田大学での専攻の学びを留学で補強することも可能で、その分野を専門とする海外の教授や世界各国からの留学生とのつながりも築けます。

語学スキルアップ型 (EX-L・CS-L)

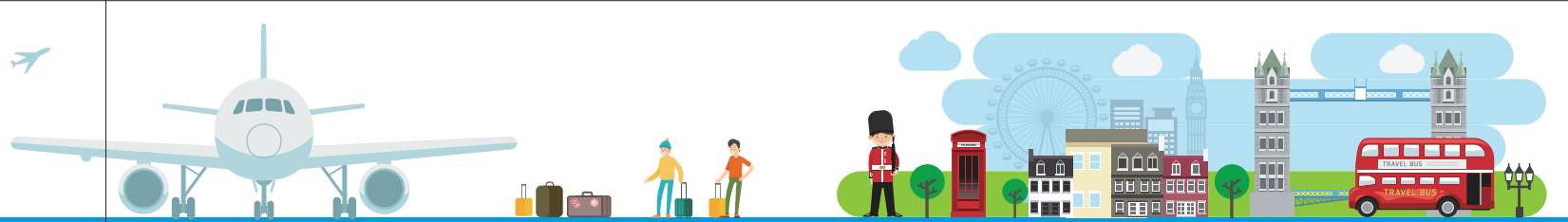
海外の大学ではプレゼンテーションやパブリックスピーキングなど、自分の意見を相手により分かりやすく伝えることが重要視されます。留学を通じ、語学力のみならず社会に出てからも役立つコミュニケーション力を磨きましょう。

海外体験型 (短期)

「憧れの国で生活体験してみたい」「旅行でもなかなか行く機会がない地域へ、大学のプログラムで行ってみよう」という人には短期プログラムがおすすめです。現地では語学力を身につけるとともに、生活を通じたさまざまな体験も、人生観を養うために役立つはずです。



プログラム紹介



Program 01 EX-Rプログラム (Exchange Regular Academic Programs)

大学間あるいは箇所間の交換協定に基づき留学する制度です。留学期間は1学年相当期間と、1学期間ものがあります。最初から比較的高い語学力が要求され、現地の学生と共に通常科目を履修するプログラムが一般的です。ただし一部外国語学習を中心としたプログラムもあります。人数枠は通常各校1~3名です。留学中の科目履修、住居手配等においては、他の留学生よりも優先されるなどの利点があります。学費は原則として早稲田大学に支払い、留学先大学の学費は免除されます。

Program 02 EX-Lプログラム (Exchange Language Focused Programs)

対象学生	学部生・大学院生 (プログラムにより学年の制限あり)
留学期間	原則1年(プログラムにより1セメスター)
留学先	交換留学協定大学
募集時期	4月(春募集)、10月(秋募集)
留学中の学費	早稲田大学の学費等のみ支払い (一部、留学先の学費を支払うプログラムもあり)

留学先大学(例)

カリフォルニア大学群、 カリフォルニア州立大学連盟 [アメリカ]

University of California (UC), California State University (CSU)



カリフォルニア州は開放的な雰囲気と温暖な気候が特徴で、留学生にとってもなじみやすい地域です。UC, CSUはそれぞれ州内に約10~20のキャンパスを持つ大学連盟です。世界的に有名なUCLA (University of California, Los Angeles) や UC Berkeley (University of California, Berkeley) などがあります。



マギル大学 [カナダ]

McGill University



ケベック州、モントリオールにある公立大学で1821年に創立されたカナダ最古の大学で、国内でも権威ある大学の1つです。フランス語圏のモントリオール市内にキャンパスがあります。基本的に授業は英語で行われます。共に古い歴史を持つクイーンズ大学とはライバル関係にあり、早慶戦を彷彿とさせる「クイーンズ・マギル対抗戦」は必見です!



ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ [イギリス]

University College London



イギリスにおいて、初めて人種・階級・宗教等の区別なく、全ての学生に広く門戸を開いた総合大学です。教育・研究両部門において世界ランクでもトップレベル。ロンドンの地の利を活かし、世界中から学生が集まっています。



パリ政治学院 [フランス]

Sciences Po (Paris Institute of Political Studies)



グランゼコールのうちの1つであり、政財界で活躍する多くの著名人を輩出しているフランス屈指のエリート養成機関です。政治経済学はもちろんのこと、社会学や歴史学を学ぶことも可能です。早稲田大学との交流の歴史も長く、交換留学プログラムでは毎年多数の学生を派遣・受入しています。



ベルリン・フンボルト大学 [ドイツ]

Humboldt University of Berlin



ベルリンは、ヨーロッパ各地の様々な国から人々が集まる多様性豊かなドイツの首都です。また、市内にはたくさんの美術館や博物館があり、歴史や芸術にあふれた街でもあります。その中心にあるベルリン・フンボルト大学は、世界大学ランキングでも毎年上位に挙がる大学です。ドイツ語だけでなく、英語で行われる科目も充実しています。



メルボルン大学 [オーストラリア]

The University of Melbourne



ガーデンステートと言われるほど緑が多いビクトリア州の州都メルボルンは、ヨーロッパ風の建物が随所に残っていたりとした趣のある街で、温暖な気候も魅力の一つです。メルボルン大学は世界中から留学生が集まり活気あふれる大学で、2018年世界の大学ランキングでは世界41位、国内2位の名門大学です。



香港中文大学 [香港]

Chinese University of Hong Kong



香港は「百万ドルの夜景」の異名を持つ、世界有数の観光地です。香港中文大学は、ビルの立ち並ぶ都心から少し離れた緑豊かなキャンパスで、落ち着いた雰囲気や学業に取り組めます。大学内の施設や留学生に対するケアも充実しており、便利な環境です。中国語はもちろん、英語で行われる授業も充実しています。



Global Leadership Fellows Program (GLFP)

GLFP (グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム)は、今後の国際社会をけん引するリーダー育成を目的としたプログラムです。米国の名門大学への1年間留学や、帰国後の日米共同ゼミなどを通してリーダーシップを学びます。

米国パートナー大学:ダートマス大学、ジョンズ・ホプキンス大学、コロンビア大学、ジョージタウン大学、カリフォルニア大学バークレー校、ワシントン大学、シカゴ大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校



亀岡 滯 さん
Kameoka Rei

政治経済学部 4年
EX-R プログラム
シンガポール/
シンガポール国立大学



・留学しようと思ったきっかけは?

高校生の時に、ベトナムでの海外研修に参加し、アジアへの留学に関心を持ちました。また、大学入学後に、アジア各国からの留学生や日本人留学経験者と交流する機会に恵まれました。その中で、「世界の優秀な同年代と勉強して自分の立ち位置を知りたい」、「彼らと生活を共にしてグローバルな視点を身に付けたい」という気持ちが強くなりました。その後、留学センターや学生留学アドバイザーの方と相談し、EX-Rプログラムであれば現地の学生と一緒に経済学を学習し、長期で学生寮に滞在することができると知りました。そして、アジアトップレベルの大学であるシンガポール国立大学への交換留学を決意しました。

・印象に残ったエピソード

シングリッシュ(シンガポール英語)の難しさと現地生のバイタリティの高さは印象的でした。まず、シングリッシュは、英語とは違う言語を聞いている感覚で、当初はかなり苦しみました。しかし、分かりやすく話してくれる友達や、量ではなく質が評価対象だと強調する教授に出会い、徐々に慣れていきました。次に、現地生のバイタリティの高さは、同じ教室や学生寮で過ごし、一緒にスポーツや旅行をしたからこそ実感できました。Aプラスの獲得に向けて予習や課題に熱心に取り組む一方で、寮のクラブ活動やアジア各国への旅行、インターンシップにも力を入れる、そんな彼らと友情を深められたのは何よりもの財産です。

・先輩へのメッセージ

今読んでくださっている方は、少なからず留学に興味をお持ちだと思います。交換留学に必要なのは、「意志」と「語学力」と「成績」の3つです。留学準備中は、なかなか3つすべてがそろわないと思います。途中で「留学しなくてもいいかな」という気持ちがよぎったり、「語学力や成績が全然足りない」と焦ったりすることもあると思います。私がそうでした。一番重要なのは、「意志」です。この「意志」は、留学準備中だけでなく、留学中にも自分の原動力になっていました。もしそれがあれば、留学はきっと叶うと思いますし、実に豊かなものになると思います。応援しています。



Study Abroad Stories

EX-R EX-L

・留学しようと思ったきっかけは?

大学2年生の8月から3年生の5月まで、アメリカのジョージワシントン大学に留学しました。幼少期から両親が海外旅行に連れて行ってくれたり、周囲に帰国生が多い環境だったりとすることがきっかけで、自然と海外に興味を持ちました。大学に入学後はEDESSA(政治経済学部の英語学位プログラム)の授業をいくつか受ける中で、他国の学生が日頃から何を考えているのか、日本にどのような印象を持っているかをもっと知りたいと思うようになり、留学を決意しました。

・授業について

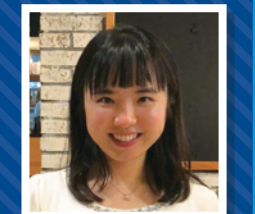
留学中は、政治学、経済学、ビジネス学の授業を中心に受けていました。日本と比べて期末考査よりもディスカッションや小テストが重要視されるため、日々コツコツと予習・復習に力を入れていました。10科目以上の授業を受けた中で一番印象に残っているのはマーケティングの授業です。現地生3人と中国人の留学生1人と一緒にチームを組み、アサイポルを男性にも購入してもらったための策を考えまし



た。自分とは違う国の人とグループワークをしたことで、思いもよらないアイデアが出てきたり、より効率の良い作業の進め方を知ったりと新たな発見がありました。また日本に関心を持っているメンバーがいて、毎回の集まりの後に日本食と一緒に食べながらお互いの文化について教えあったことも良い思い出です。

・先輩へのメッセージ

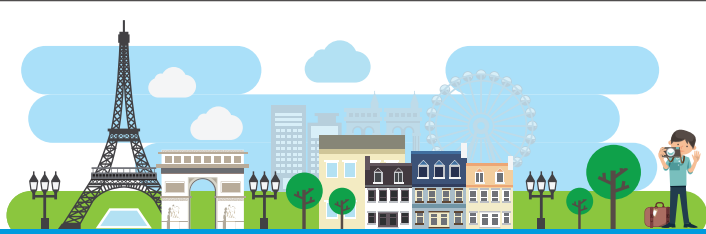
留学の一番の良いところは、自分の殻を破る機会が沢山あることです。私が今回の留学を通して成長したと思う点は、自分から積極的にコミュニケーションを取りに行けるようになったことです。以前から人と話すのは好きだったのですが、初対面の人には話しかけて良いのかな、迷惑かな、と遠慮してしまうところがありました。ですが、留学中は日本人がほとんど周りに居なかったこともあり、自分から友達に輪に入ろうと努力しました。また、DC稲門会で社会人の方と接する機会もあり、目上の方との話し方も学びました。そのような経験から、初対面の人との距離の縮め方や、知らない人に話しかける度胸といったものを得ることができたと感じています。皆さんも留学を通して、このような自分自身が変わっていく体験をしてみませんか?



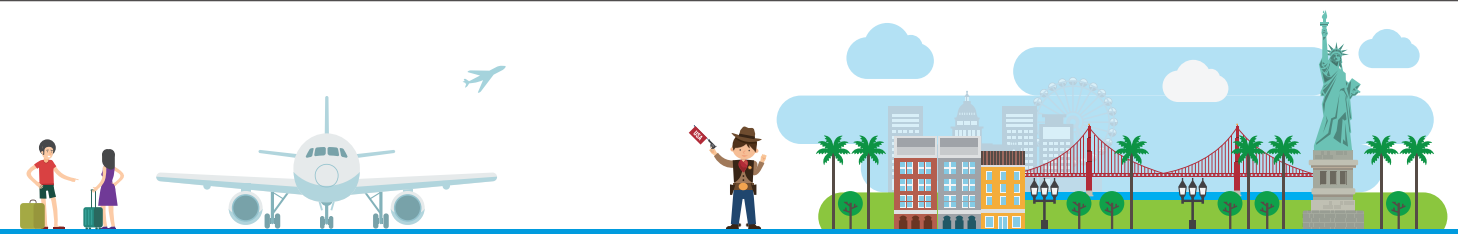
葉山 帆月 さん
Hayama Hotsuki

政治経済学部 4年
EX-R プログラム
アメリカ/
ジョージワシントン大学





プログラム紹介



Program 03 CS-Rプログラム (Customized Study Programs-Regular Academic Programs)

最初から留学先大学の通常カリキュラムの中で、現地の学生とともに通常科目を履修するプログラムです。留学期間は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります (CS-R (1semester) プログラム参照)。原則として早稲田大学の学費は免除になり、留学先大学に所定のプログラムフィー(学費等)を支払います。

対象学生	学部生	留学期間	原則 1年
留学先	北米、英国、アイルランド、オセアニアなど	募集時期	4月(春募集)、10月(秋募集)
留学中の学費	留学先大学のプログラムフィーを支払う 早稲田大学学費等は1年間免除		

留学先大学(例)

イェール大学 [アメリカ]

Yale University



コネチカット州にあるイェール大学は、アイビー・リーグに所属する8大学の内の1校で、1701年創設の名門私立大学。日本では唯一早大生のみが留学できるプログラムです。留学中は、ハイレベルな現地学生たちと共に学生寮に住み、授業を履修することになります。ニューヨークやボストンへのアクセスも良いため、充実した生活を送ることができます。



Program 04 CS-Lプログラム (Customized Study Programs-Language Focused Programs)

留学先大学が早大生のために定めるカリキュラムに参加するプログラムです。CS-Lプログラムの特徴は、外国語学習を中心としながら、語学レベルに応じてテーマに基づいたカリキュラムを履修できる点です。留学期間は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあり (CS-L (1semester) プログラム参照)、原則として早稲田大学の学費は免除になり、留学先大学に所定のプログラムフィー(学費等)を支払います。プログラムによっては出願時に語学スコアの提出が不要でチャレンジしやすいものもあります。

対象学生	学部生	留学期間	原則 1年
留学先	北米、ヨーロッパ、オセアニア、中国など	募集時期	5月(春募集)、10月(秋募集)
留学中の学費	留学先大学のプログラムフィーを支払う 早稲田大学学費等は1年間免除		

留学先大学(例)

ルイス&クラーク・カレッジ [アメリカ]

Lewis & Clark College



オレゴン州ポートランドにあるリベラルアーツ・カレッジです。オレゴン州は消費税がないことで有名で、更に大学のあるポートランドは「全米で最も住みたい都市」として高い評価を受け、近年日本のメディアでも多く取り上げられています。緑の多い美しいキャンパスをもち、留学経験者の満足度が非常に高く、毎年人気の留学先のひとつです。



GLCA / ACM [アメリカ]

Great Lakes Colleges Association / Associated Colleges of the Midwest (GLCA/ACM)



アメリカ中西部にある27のリベラルアーツ大学からなるコンソーシアム。各大学に特徴がありますが、いずれもリベラルアーツの特徴である少人数全寮制の大学です。大学の規模が小さいため、教授との距離が近く、アットホームな雰囲気の中、親身丁寧な授業を受けられることもおすすめポイントのひとつです。



オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ [イギリス]

University of Oxford, Hertford College



オックスフォード大学を構成するカレッジのひとつで、その歴史は実に13世紀まで遡ります。通常の講義スタイルではなく、チュートリアルと呼ばれるシステムで、1対1の指導を繰り返しながら参考文献を読み、個別に与えられた課題についてのレポート提出をします。学力、語学力共に非常に高いレベルが求められるプログラムです。



ルンド大学 [スウェーデン]

Lund University



スウェーデン南部にある町ルンドは、人口9万人ほどの北欧最古の町のひとつです。町自体が大学と融合しており、人口の4割が学生や大学関係者であると言われています。本プログラムの授業はすべて英語で行われます。ヨーロッパ地域からはもちろんのこと、世界各国から留学生が集まるプログラムであるため、国際的な感覚を身に付けられる環境といえるでしょう。



リヨン第3大学 [フランス]

Jean Moulin University Lyon 3



フランス語を磨きたいのなら、ぜひこのプログラムに参加してみましょう。フランス語のスピーキング・リスニング・ライティング・リーディングを磨きながら、選択授業では自身の興味のある分野について学習することができます。また、リyonはフランス第2の都市であり、美食の街としても知られています。



サラマンカ大学 [スペイン]

University of Salamanca



マドリドから電車で2時間半ほどのスペイン中部サラマンカ。「スペインで一番美しい」といわれるマヨール広場をはじめ、中世の歴史を肌で感じられる街並みが広がっています。サラマンカ大学付属の語学機関はスペイン語教育に定評があり、自身のレベルにあった語学の授業に参加することができます。1年間スペイン語漬けの日々を送ってみませんか。



クイーンズランド大学 [オーストラリア]

The University of Queensland



ブリスベン、オーストラリア・クイーンズランド州の州都で、一年を通して温暖な気候が魅力です。バスや電車・フェリーで少し足を伸ばせば豊かな自然も楽しめます。クイーンズランド大学は緑あふれる美しい広大なキャンパスをもち、留学生も多く、活気にあふれた大学です。2018年世界の大学ランキング47位と、世界的にも評価の高い大学です。



渡邊 智美 さん

Watanabe Tomomi

教育学部 5年
CS-R プログラム
アメリカ/
フォート・ルイス・カレッジ



・留学しようと思ったきっかけは?

私が留学をしたと思ったのは、高校一年生まで遡ります。高校一年生のときに、学校のプログラムで、ニュージーランドへの1ヶ月のホームステイができるプログラムがありました。このプログラムは希望者のみのプログラムで、高校一年の私は世界がどういふものなのだろうか、いろんな人と出会ってみたいという気持ちが強く、参加することにしました。実際、現地へ行ってみると言葉も通じない文化も違う人たちの中で、多くの優しさや変化を感じました。一ヶ月という期間は短く、自分の言語能力もより一層レベルをあげたいと思い、大学生では一年間留学しようと思った。個人的にアメリカ英語がとても好きだったので、行くならアメリカへ行くということも決めていました。

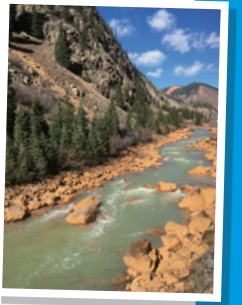
・滞在先について

滞在先は、コロラド州のデュランゴというところでした。私は実際に大学の授業を受けたいという理由で学校を選んでいたため、どういふところなのか全く調べていませんでした。実際に行ってみると、ダウンタウンに鹿がいる山に囲まれた想像以上の田舎でした。大学も山の上であり、バスもたくさん出ているわけではなかったため、東京とは真逆の生活だと感じていました。しかし、その分どこかに行くにも、何をすることも現地の学生と友達になり、連れて行ってもらうなどしてもらわなければなりません。これは、とてもいい機会で、日頃なにも自由なく生活していたら全

く味わうことができない田舎の良さだと強く思いました。環境のおかげで、多くの現地の友達も増え、たくさんの優しさを感じることができました。

・印象に残ったエピソード

印象に残ったのは、日本人留学生9人でJapanese Festivalを開いたことです。私が行っていた大学では、ほとんどがアメリカ人というアメリカでは珍しい大学でした。なので、なかなか留学生や他文化に触れ合う機会が少なかったと思います。そこで、日本人で話し合い、より一層日本について興味を湧いてもらえるようなイベントを開きたいとなりました。内容としては、日本についてのプレゼンテーション、実際の日本の文化体験(浴衣、書道、折り紙)、日本食の提供です。授業で宣伝などもした成果があり、当日は多くの人に来てくれました。少しでも、日本についてのイメージを膨らませてもらえることができればいいと思い、計画したイベントが成功したのは、留学して一番の思い出です。



Study Abroad Stories

→ CS-R CS-L

・留学先、プログラムを選んだ理由は

ヨーロッパに留学した先輩方は、勉強や学校生活はもちろん、その国での暮らしも楽しんでいる人が多いと感じ、ヨーロッパに留学してみたいと思っていました。また、学生時代に様々な場所を旅行してみたいと思っていたので、週末などに気軽に他の国などに旅行できるところも魅力でした。

さらに、私は語学を勉強するのが好きだったので、新しく英語以外の言語を学んでみたいと考え、CS-Lプログラムを選択しました。

特にボン大学には、日本語学科もあり、日本語を学びたい現地の大学生との交流も盛んで、ドイツ語を学ぶ環境が整っていると感じました。実際に、留学中は7人の語学パートナーとほぼ毎日ランゲージエクスチェンジ(タンデム)をしていました。

・授業について

ドイツ語の授業が中心で、週3回、1日3時間ドイツ語の授業を受けていました。ドイツ語のレベルで振り分けられた15人以下の少人数クラスで、先生が丁寧に指導や添削してくれます。クラスには、各国の留学生がいるのですが、



そういった留学生たちも普段から、英語ではなくドイツ語を使ってコミュニケーションをとるのが新鮮でした。彼らとは今でも連絡を取ったり、会ったりします。様々な背景を持つ友達が出来たのは大きな財産です。

ドイツ語がある程度上達した後からは、早稲田での自身の専攻にかかわるような、経済やメディアの授業をとったり、大学の正規の授業を聴講してみたりもしました。また友人とズンバなどの体育の授業をとってリフレッシュしていました。

・滞在先について

滞在先のボン市の好きなところは、季節折々の楽しみがあるところです。ドイツ中から人が集まる桜祭り、夏のライン川沿いでBBQ、そしてなんといってもクリスマスです!町全体がクリスマスの雰囲気になり、クリスマスマーケットで友達と放課後にホットワインやホットチョコレートを飲むなどして楽しみました。旅行がしやすいボン市のいいところです。学生証があれば、州内の交通機関は無料なので、週末には近郊を観光しました。またボンには空港もあり、長期休みには他の国にも旅行しました。学習面では、図書館が朝早くから深夜まで開いており、放課後に友達とランゲージエクスチェンジやいっしょに料理をしたり、合唱クラブの活動をしたりした後でも、図書館で集中して勉強できたのがよかったです。

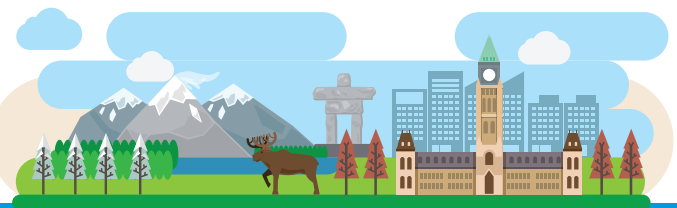


増田 葉月 さん

Masuda Hazuki

政治経済学部 4年
CS-L プログラム
ドイツ/ボン大学





プログラム紹介

Program 05 CS-R (1S) プログラム (Customized Study Programs-Regular Academic Programs・1Semester)

留学期間が1セメスター(約半年)のプログラムです。中には学内選考の出願から半年後に出発できるプログラムもあります。CS-R (1S) は専門科目を短期間で学ぶことができ、また CS-L (1S) は、短期留学よりもじっくりと語学力アップや異文化理解を図ることができます。一部の CS-L (1S) プログラムは、出発前のオンライン・テストまたは到着後のクラス分けテストを受けることで、語学スコアがなくても応募できます。

Program 06 CS-L (1S) プログラム (Customized Study Programs-Language Focused Programs・1Semester)

対象学生	学部生
留学期間	約3ヵ月～6ヵ月間(1学期間)
留学先	アメリカ、カナダ、中国、アイルランドなど
募集時期	4月(春募集)、10月(秋募集)
留学中の学費	留学先大学のプログラムフィーを支払い、早稲田大学学費等は免除

留学先大学(例)

カリフォルニア大学デービス校 [アメリカ] University of California, Davis

サンフランシスコから車で1時間ほどの距離にあるデービス市は、住民の大半が大学の学位を持っていることから、「全米で最も教育を受けている街」のひとつに数えられ、治安の良い住みやすい大学都市です。1909年の創立当初は、農業専門学校として開校し、10校あるUCシステムの中で3番目に古い歴史ある大学です。



ハワイ大学マノア校 [アメリカ] University of Hawaii at Manoa

1971年創立。Academic Englishを集中的に学ぶプログラム。コーディネーターのアドバイスを受けながら自分にあったコミュニティを選び、現地の方と一緒に様々なボランティア活動を行う「Service Learning」への参加を推奨しています。語学力向上はもちろん、それ以上に多くのことを学ぶことができます。また大学内でのスポーツや文化活動も盛んに行われており、それらに参加することも可能です。



ボン大学 [ドイツ] University of Bonn

ボンは旧西ドイツの首都であり、歴史ある街並みがひろがっています。早稲田大学との交流の歴史も古く、毎年多くの学生が留学しています。ドイツ語のクラスはレベル別に分かれており、集中して語学を学ぶ環境が整っています。また、ケルンやデュッセルドルフにも日帰りで旅行をすることができ、ドイツ語を学ぶだけでなく、ドイツの文化を肌で感じることができるでしょう。



ボストン大学 [アメリカ] Boston University

1839年に設立されたマサチューセッツ州北東部にある大学。近年の世界大学ランキングでも常に100位以内にランクインされる名門校で、大学都市として有名なボストンでも最大規模の大学です。ボストンは芸術、文化、音楽、自然またスポーツなどが楽しめる都市であることから、留学先としても人気のある街です。



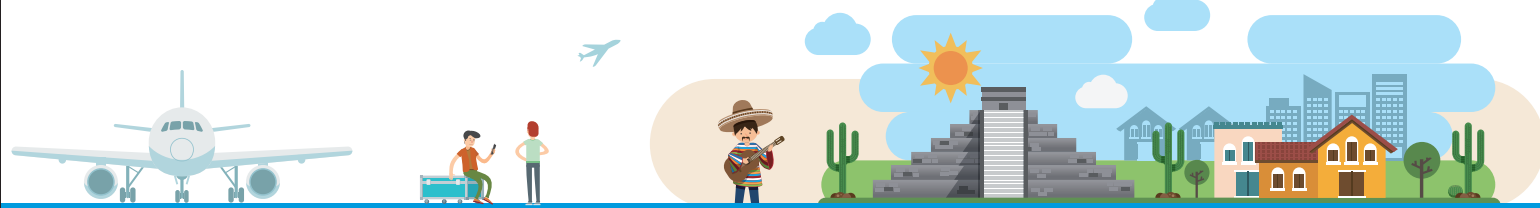
ブリティッシュコロンビア大学 [カナダ] The University of British Columbia

ブリティッシュコロンビア州のバンクーバー市西端とオカナガン地方のケロウナにある州立大学です。1908年にマギル大学カナダ最大の研究総合大学として有名です。これまで4人のカナダ首相経験者が在籍、さらに7人のノーベル賞受賞者を輩出しています。カナダの大学ランキングのトップ3に常に入っており、国際的な知名度がとても高く、マギル大学やトロント大学に並ぶカナダを代表する総合大学です。



ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン [アイルランド] University College Dublin

アイルランドで最大規模の大学・UCDの付属語学学校で学ぶプログラムです。本プログラムには英語力初級者から留学が可能で、自然豊かな広大なキャンパスで、集中的に語学力を伸ばすことができます。プログラム開始初日に英語力測定テストを行うため、自身のレベルにあった授業の受講が可能です。



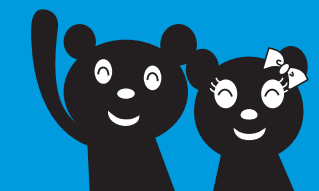
オークランド大学 [ニュージーランド] The University of Auckland

オークランド大学 CS-L (1S) は、オセアニア地域では数少ない1セメスター CSプログラムのひとつで、4月から約半年間、語学を集中的に学びます。同大学は国内トップの大学で、市内中心部にキャンパスがあります。オークランドはニュージーランド最大の都市ですが、美しい港と緑に囲まれていて、年間を通して温暖な気候も魅力的です。



北京大学 [中国] Peking University

1898年に設立された中国で初めての国立大学で、中国教育部の定める最重点大学です。本プログラムでは、北京大学対外漢語教育学院で中国語を集中的に約半年間学びます。このプログラムでは、使える中国語の習得、中国の歴史・社会・文化への理解を深めることを目的としています。ここで伸ばした語学力を、1年間の交換留学やダブルディグリー・プログラムに繋げることが可能です。



Study Abroad Stories → CS-R CS-L (1S)

・留学しようと思ったきっかけは?

小学生の頃に初めて海外旅行に行ってから、漠然と海外への憧れを持っていました。そして高校生の時に、知り合いのインド人の子供たちと遊ぶ機会がありました。子供達は日本語が分からなかったで、コミュニケーションは全て英語で行いました。5歳と2歳の子が話す英語は難しくはありませんでしたが、会話中の助動詞の使い方や言い回しが私とは違いとても印象的でした。また、日本の遊びを教える際に、語学力が足りないことで自分が考えているように説明できないこともありました。その子達との交流をきっかけに英語を話せるようになりたいと強く思うようになり、留学に挑戦したいと思い始めました。

・滞在先について

ダブリンは小さな街で、人も多くないのでゆったりと過ごすことができます。また、ダブリンから車で数時間地方へ移動すると大自然が広がっています。海沿いには高い崖が多く、海を横にみながら崖沿いの散歩を楽しむことができます。また、アイルランドの人々はとても穏やかで親しみやすい人が多いです。アイルランド人と日本人は似ている点が多いという印象を受けました。

街にはアイルッシュパブがたくさんあり、そこではアイルランド音楽に合わせてみんなで踊ったり、スポーツ観戦で盛り上がったりしていました。個人的には、治安も良い方だと思います。基本的にバスや電車で移動する際に犯罪に遭うという心配はないです。大きな環境の変化がないため、日本人にはとても住みやすい街だと感じました。

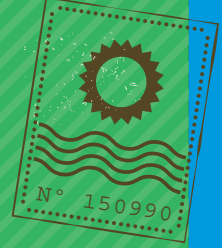
・印象に残ったエピソード

留学先の友人達から、「あなたは日本人じゃないみたいだ。」と言われたことが私にとって印象的でした。私は、留学中は自ら積極的に様々なコミュニティに加わっていくことを目標に掛けていました。留学中は常に新しい世界へ飛び込むチャンスや、友人を増やすチャンスを逃すことのないよう心がけていました。サークルの活動に積極的に参加し、友人との会話の中では意識的に自分から話すことで、現地の友人たちが持つ「日本人はシャイな人が多い」というイメージを覆すことができました。その時にとても嬉しかったので、はっきりと記憶に残っています。さらに、現地に溶け込めるようになりたいという新たな目標に向け、スタートすることにつながりました。



吉田 雛子 さん
Yoshida Hinako

法学部4年
CS-L (1S) プログラム
アイルランド/
ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン



プログラム紹介

Program 07 DDプログラム (Double Degree Programs)

在学中にダブルディグリーのカリキュラムを提供する大学に留学し、所定の要件を満たせば、早稲田大学を卒業する際に本学の学位と留学先大学所定の学位の両方取得できるプログラムです。留学先大学におけるダブルディグリー課程修了のためには、外国語に関する高度な読解力、聴解力、会話力が求められるため、参加希望者の語学力については特に厳格な審査を行います。なお、プログラムによって、対象学部・研究科や期間が異なります。

対象学生	学部生・大学院生（プログラムにより異なる）
留学期間	1年、1.5年、2年（プログラムにより異なる）
留学先	北京大学、復旦大学、国立台湾大学、シンガポール国立大学、アールム・カレッジなど
募集時期	10月（秋募集）
留学中の学費	ダブルディグリー登録料 15万円および早稲田大学の学費等（アールム・カレッジのみ、留学先大学学費等）

留学先大学（例）

北京大学 [中国]

Peking University

1898年に設立された中国で初めての国立大学で、中国の近代化に大きな影響を与えた中国教育部の定める重点大学です。キャンパスは北京郊外の海淀区にあり、円明園やユネスコ文化遺産の頤和園（いわえん）、中国のシリコンバレーと呼ばれる中関村に隣接しています。本プログラムは国際関係学院の課程を1年間履修します。授業は中国語で行われ、所定の要件を満たせば北京大学より法学学士（国際関係学院双学士専攻）の学位証書が授与されます。



上海交通大学 [中国]

Shanghai Jiao Tong University

1896年に創立された、中国教育部直属の国立総合大学です。上海市に所在し、約1,700人の留学生を含む37,000人を超える学生から構成されています。また学内は古い建築物と新しい建築物との調和がとても美しい風景を創り出しています。本プログラムは、School of International and Public Affairsにて、中国の視点から国際関係を勉強します。所定の要件を満たし、卒業論文を提出すると、「Second Bachelor Certificate (in Administrative Management)」が授与されます。



復旦大学 [中国]

Fudan University

1905年に創立された、上海市楊浦区に所在する中国の国立重点大学です。中国を代表する総合大学です。在校生は45,000人を超え、著名な政治家や学者も多く輩出しています。毎年700人以上の長期留学生と600人以上の短期留学生を受け入れています。本プログラムは、新聞学院でジャーナリズムの課程を1年間履修します。所定の要件を満たし、卒業論文（中国語）を提出すると「復旦大学に正規入学する外国籍学生が学部4年生かけて取得する」学士号が授与されます。



国立台湾大学 [台湾]

National Taiwan University

1928年に設立された台北市に本部を置く総合大学です。11学部・大学院、54学科があり、3万人を超える学生が学んでいます。外国人留学生も多く、毎年世界各国から約1,000人の学生が集まります。本プログラムは2種類あり、商学部と国際教養学部が対象の管理学院（会計学・交渉管理・財務金融学・国際企業学系）で学ぶものと、全学部が対象の社会学院政治学系のものがあります。本プログラムの履修は1年半で、授業は中国語で行われます。



高麗大学校 [韓国]

Korea University

1905年に設立された韓国の名門私立大学です。在校生は37,000人を超え、財界に多くの人材を輩出する一方、スポーツの名門としても知られています。本プログラムは、政経大学（学部）のうち、政治外交学科、経済学科、統計学科、行政学科の中から1つを選択し所属します。授業は主に英語で行われます。履修は1年半で、所定の要件を満たすことで所属した学科の学位を取得することができます。



シンガポール国立大学 [シンガポール]

National University of Singapore

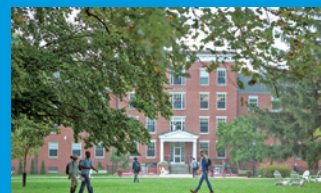
シンガポールを代表する総合国立大学であり、アジア1~2位を争うトップレベルの大学です。特に優秀な学生のみが受けられるUniversity Scholars Programme (USP) のカリキュラムに則り、2年間の留学生活を送ります。教員も共に暮らす広大なキャンパス内に設けられたUniversity Townに居住しながら学びの環境を身近に感じ、世界各国から集うトップレベルの学生たちと切磋琢磨するチャレンジングなプログラムです。



アールム・カレッジ [アメリカ]

Earlham College

アメリカのインディアナ州リッチモンドにあるリベラルアーツ・カレッジです。徹底した少人数教育（教員：学生比率は1：10）のもと、「自らで考え抜く力」を身に付けた学生の多くは卒業後に世界有数の医学・法科等の大学院に進学します。2015年から開始したダブルディグリー・プログラムでは2年間の留学を通して、アールム・カレッジならではのユニークな教養科目と、専門分野（国際関係学、英文学、平和構築学または物理学から選択）を勉強し、学位を取得することができます。



Study Abroad Stories



加川 美由紀 さん
Kagawa Miyuki
政治経済学部 4年
DDプログラム
中国/北京大学

・留学先、プログラムを選んだ理由は？

中国・北京を選んだのは、日中関係の謎に対する答えを見つける留学がしたいと思ったからです。私は、小学生、中学生の期間を北京で過ごしました。ちょうどその頃、尖閣諸島の問題で日中関係が悪くなっていて、私達の生活にも影響が出ていました。けれど、周りの中国人の友達とは仲良くできている、このギャップを不思議に思っていました。そのため、もう一度今度は自分の力で中国へ行き、感じていた疑問を解決するために留学を決めました。ダブルディグリープログラムを選んだ理由は、中国のエリート層である北京大学の学生と同じ授業を受けることで、中国の教育を体験してみたかったからです。同じ教育を受けることで、中国の学生の価値観や歴史感がどのようにつくられていくのか知りたいと思っていました。また、将来、日中だけでなく東アジアのビジネスに関わりたく、思っている私にとって、中国で教育を受けたという証明はとても大きな財産になるのではないかと、思っています。

・印象に残ったエピソード

雲南省に旅行しているときに「你开心就好（あなたが楽しければそれでいい）」という言葉がたくさん言ってもらったことです。留学中に友達と雲南省に旅行をしたとき、旅行をずっとサポートしてくれたのが、現地の少数民族の友達とその家族だったのですが、なにかあるたび私たちは「谢谢（ありがとう）」と伝えていました。その度に返してくれる言葉が、「你开心就好（あなたが楽しければそれでいい）」という言葉です。こんなに良くしてくれるのは、彼らが少数民族で、日本人の私達が珍しいのかな？と考えていましたが、よく考えてみると、私の北京大学の友達もみんな、こんなことまで！と思うほどいろいろなことをしてくれました。レポートの期限前日に、中国語の添削を丁寧にしてくれたり、中国の家庭の文化を体験したい、と言ったら実家だけではなくおばあちゃんの家まで案内してくれたり。

一度仲良くなると、家族のように大切にしてくれる、私の中国人の友人たち、そして彼らと過ごした時間は一生の宝物です。

・後輩へのメッセージ

これから留学に行こうか迷っている方、留学に行こうと準備している方に伝えたいことが2つあります。1つ目は、留学は「自分の当たり前をもう一つ増やす期間」だ、ということです。短期でも、長期でも、海外で生活することで、その期間留学先で当たり前だった、現地の文化や会話が自分の新たな価値観につながると私は思います。よく、多面的に物事を考えることが大切だ、と言われますが、留学をすることは日本以外の当たり前を知り、新しい価値観で物事を見ることができるとても良い手段の1つだと考えています。2つ目は、自分にとっての「良い」と他人にとっての「良い」は違うということです。留学先も、プログラムも、有名大学だから良い、優秀なプログラムだから良いとは限りません。本当に留学に行きたいのはなぜか、を探ってから留学をしてほしいと思います。語学を伸ばすための留学、現地でインターンシップをしてビジネスを学ぶ留学など、いろいろな留学の形があって良いと思います。そのときに、自分の考える「良い」と周りが考える「良い」は違って、自分と人を分けて考えること、これが目的をもって留学ができる第一歩になると思います。

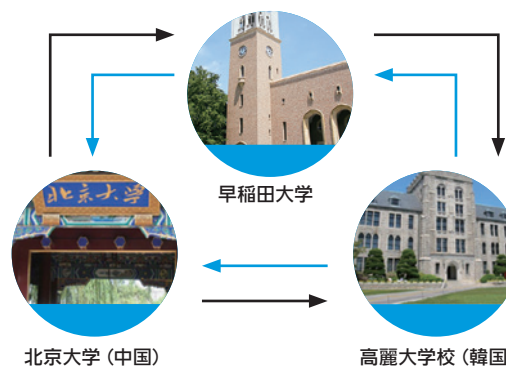


CAMPUS Asia (Collective Action For Mobility Program of University Students in Asia)

多層的紛争解決・社会変革のためのグローバルリーダー共同育成プログラム

多層的な紛争に対し革新的な提案を行いそれを実践しうる

「次世代リーダー」の育成



■ 主な取組

① 多様な留学・交流プログラム

長期留学として、ダブルディグリー、副専攻（二か国留学）、インターンシップ（一か国留学）の3つがあります。短期交流も、休業期間中の夏と冬に3か国で行います。

② 紛争解決・社会変革 関連科目群

「紛争解決」と「社会変革」をテーマとしたカリキュラムを構築し、関連科目を日中韓で多数設置しています。

③ 日中韓コミュニティ形成

3か国で密接な学生交流が図られます。在学中はもちろんですが、卒業生の組織も形成されます。

CAMPUS Asia とは、文部科学省補助金事業の「大学の世界展開力強化事業」の一つの形態です。早稲田大学は、高麗大学校、北京大学とチームを組んで、「多層的紛争解決・社会変革のためのグローバルリーダー共同育成プログラム」を立案し、2016年にCAMPUS Asiaプログラムに採択され始動しました。

プログラム紹介

Program 08 短期留学プログラム

留学センターが手続き窓口となり、夏・春休み期間に開催しているプログラムです。内容はプログラムごとに異なりますが、語学やその国の文化等を短期間に勉強するカリキュラムになっています。長期留学を希望する学生には、自分の異文化適応能力や外国語能力を試す意味でも、これらの短期プログラムに参加してみることをお勧めします。短期プログラムはほとんどが「海外研修科目」として登録でき、奨学金もあります。

対象学生	学部生・院生
留学期間	1～7週間
留学先	北米、ヨーロッパ、オセアニア、中国、韓国など
募集時期	夏季：5月、春季：11月
留学中の学費	研修旅行代金をプログラムごとに支払う

留学先大学（例）

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 [アメリカ]

University of California, Los Angeles



UCLAはハリウッドをはじめ多くの観光名所がひしめくアメリカ西海岸の都市、ロサンゼルスにある全米屈指の名門大学です。その付属機関で実施される Intensive English Communication Program (IECP) は、スピーキングやリスニング中心の英語のコミュニケーションカレッジを目標とするプログラムです。



オックスフォード大学モードレン・カレッジ [イギリス]

Magdalen College Oxford



映画ハリポッターの舞台としても知られるイギリス唯一の学術都市オックスフォード。本プログラムはオックスフォード大学傘下のモードレン・カレッジで実施され、同大学伝統の「少人数教育」でイギリスのメディア・文化・政治を学びながら、英語の総合力・自己表現力を養います。寮生活や現地学生との交流を通じて、現地の大学生活を肌で体感できるのも魅力です。



マルタ大学 [マルタ共和国]

Malta University



イタリアの南・地中海に浮かぶ小さな島国マルタ共和国は、その美しい海と絶景、温暖な気候、治安の良さからヨーロッパ中の人々を魅了する観光地です。プログラムは、基本的な授業と合わせ、正確で流暢な英語力の上達を目指す会話のクラスも充実しており、経験豊富な講師陣と多国籍の学生の中で生きた英語を学ぶ機会に恵まれています。



国立台湾大学 [台湾]

National Taiwan University



台湾北部に位置し、台湾の経済・政治・文化の中心地である台北市は、日本統治時代の建物も多く残り、親日家も多いことで知られています。アジアを代表する名門、国立台湾大学の短期プログラムでは、3週間にわたる中国語研修（繁体字使用）と中華文化研修に加え、現地の学生がチューターとしてサポートしてくれるので、実践的な会話力も身に付きます。



トロント大学 [カナダ]

University of Toronto



トロントはカナダ最大の都市で、国際的な活気にあふれた多文化都市です。トロント大学は国内屈指の名門校です。本プログラムでは、さまざまなメディアを使用するだけでなく、ロールプレイやディスカッションなどを通して4つのスキル（スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング）を学びます。



ミュンヘン大学 [ドイツ]

Ludwig Maximilian University of Munich



ドイツ南東部にあるミュンヘンは、バイエルンアルプスの山々や湖、古城にもアクセスがよく、サッカーの強豪チームFCバイエルン・ミュンヘンの本拠地としても世界的に知られています。このプログラムでは、学問、文化、社会的観点からドイツ語を学びます。課外活動にザルツブルグ訪問やノイシュバンシュタイン城見学などが予定され、現地の文化と歴史に触れることができます。



モナシユ・カレッジ [オーストラリア]

Monash College



ガーデンステートといわれるほどに緑豊かなビクトリア州の州都メルボルン。ヨーロッパの情緒を感じさせる街並みと治安の良さで、留学先として常に人気の街です。名門モナシユ大学の傘下にあるモナシユ・カレッジで実施される5週間の実践的な語学研修です。またホームステイで現地の生活スタイルを体験しながら英語や異文化に触れることができます。



聖トマス大学 [フィリピン]

University of Santo Tomas



聖トマス大学は、フィリピンの名門大学のひとつで、1611年創立の国内最古の大学と言われています。キャンパス内には商店や銀行もあり、不自由なく生活ができます。本プログラムはリスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法等をバランスよく学ぶほか、Buddyと呼ばれる現地大学生との交流の機会があることも魅力です。



Study Abroad Stories

短期

・滞在先について

カナダでは、その広大な自然に驚かされました。ビル群が立ち並ぶ中に大きな芝生があったり、大学内の庭にリスが居たり、日本では味わえない景色をたくさん見ることが出来ました。私たちは動物たちを見てはしゃいだり写真を撮ったりしていましたが、現地の人たちはリスが周囲をうろついても全く気にすることなく休憩を楽しんでいたのが印象に残っています。まるで、人々が自然と隣合わせに生きているような雰囲気がありました。休日にはダウンタウンへ買い物に出かけました。店に入れば自然と英語で店の人と対話することになります。化粧品売り場では日本と同じように店の人と相談しながら買う商品を選んだり、レストランでは自分の苦手な食材がメニューにないか確認したり、それらを全て英語でこなすのは大変でしたが、とても身になる体験でした。また、ナイアガラの滝やCNタワーなど、「カナダといえばここ!」という観光地にも足を運び、その偉大さを肌で感じる事が出来ました。



・授業について

トロント大学の授業では、様々な国から来た留学生と同じクラスで勉強します。最初は英語での説明を聞き取ることも自分の意見を英語で喋ることも困難で、クラスの後は自分の英語力の低さに落ち込むことが多々ありました。しかし、先生も周りの留学

生たちも、私の拙い英語をどうにか聞き取ろうと耳を傾けてくれました。先生からの質問には積極的に発言することを意識し、ペアワークやディベート、プレゼンテーションなどクラスでのアクティビティを重ねていくことで、最終週には現地のカフェの店員と短い会話を交わせるほどには英語力をレベルアップさせることができました。

・後輩へのメッセージ

もうひとつ、カナダへの短期留学で得たものがあります。留学に行くまでの私は、他人と関わるのが非常に苦手で、大学内でも一人で過ごすことがほとんどでした。しかし、トロント大学での寮生活を通じて、それは私自身が周りや壁を作っていたからだという事に気づくことが出来ました。早稲田大学からトロント大学へ一緒に行った20人とは留学が終わった今でも連絡を取り合い、全員で集まることもあります。海外で共に過ごした友人は一生ものです。もちろん、一緒に日本から留学した友人だけでなく、留学先でできた友人とも交流は続いています。後輩の皆さんにはぜひ、早稲田大学の短期留学プログラムに参加し、日本ではできない体験をたくさんしてきてほしいと思います。



梶原 夕希 さん

Kajihara, Yuki

文学部3年
短期留学プログラム
カナダ/トロント大学
(New College)



学外機関実施の短期プログラム

留学センターでは、学外機関実施の短期プログラムの募集・告知もしています。危機管理体制は留学センター短期プログラムと同様なので安心。一定の条件を満たせば単位取得も可能です。

留学センター × (株)地球の歩き方T&E

海外フィールドワーク・プログラム

海外渡航経験の少ない学生（主に1、2年生）を対象としたプログラム。現地学生との交流やグループワーク、企業訪問などを通して現地の歴史や文化、マーケットを学び、将来グローバル人材となるためのヒントをつかみます。（約9～15日間）
行き先：シンガポール、香港、シドニー（2018年実績）

海外インターンシップ型プログラム

すでに海外渡航経験がある学生（主に3年生以上）を対象として、異文化の同世代との混成チームで企業の課題解決に取り組み、仮設を立て調査を実施しつつ協働する姿勢を身に付けることを目的としたプログラム。就職活動における視野や選択肢を広げたい人におすすめです。（約10日間）
行き先：シンガポール、香港（2018年実績）

詳しくはこちらから→



留学センター × 大学生協

早稲田大学英語研修プログラム（夏季休業中）

語学研修に特化したプログラム。自由度が高く、航空券は個人で手配します。プログラムの前後に個人旅行をしたいという人にもおすすめです。ツアー形式ではないため、1名から参加可能!

詳しくはこちらから→



大学生になると、一度は留学に行くか行かないかって迷うときがあると思うんですけど、僕はチャンスがあるんだから実際に現地に行ってみようかなと思います。なぜなら、実際に現地に行くことで、現地の風土とか空気感とか住んでいる人たちの文化とか考え方がどうなのかを一気に感じることが出来るから。書籍だったら情報は一つずつですけど、それを一気に取り込めるのが留学かなって思っていて、そういうチャンスはなかなかないので。日本は安全で快適で、海外に行くだけでも躊躇する人がいると思うんですけど、ちょっとでも勇気を出して一回行ってみたら、結構快適なんですよ。食わず嫌いかもしれないし、実際住んでる方もいらっしやるし。ほんとに、行くことが大事って思いました。それから現地で僕たちをサポートして下さった引率の方ですが、英語もうまくて、旅行も慣れていて、近くで助けてもらえたり、ホテルでのトラブルも対処してくださってありがたかったです。経験者と行くことも、自分が不便なものとか、不都合と一緒に乗り越えてくださるので第一段階としてはすごくいいのかなと思いました。

海外フィールドワーク・プログラム（香港）



2018年夏参加
多比良 浩之 さん
Tahira, Hiroyuki
政治経済学部経済学科2年

留学情報の集め方

まずは、留学フェアに行ってみよう!

留学イベント情報

早稲田大学では、留学センターが主催する年2回の留学フェアのほかにも、渡航準備相談会や学生留学アドバイザーが実施する相談イベント・交流会など、様々なイベントを行っています。留学に関する情報提供のほか、相談、手続きを行う Waseda Global Gate (22号館1階) では、個別のセミナーや説明会も頻りに開催していますので、留学センター Web ページのイベント情報をチェックし、積極的に参加しましょう!

留学フェア

2019年春の留学フェア 4/19 (金)、4/20 (土)

2019年秋の留学フェア 10/4 (金)、10/5 (土)

短期留学募集説明会

夏季 (2019年8・9月出発) 2019年4月下旬
春季 (2020年2・3月出発) 2019年11月下旬



プログラムリストを見よう!

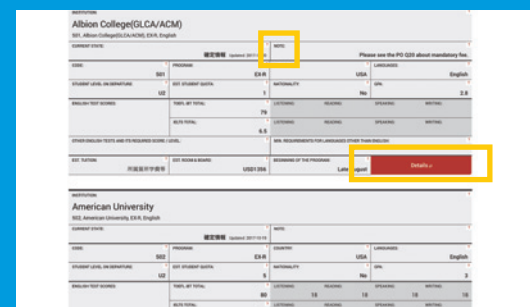
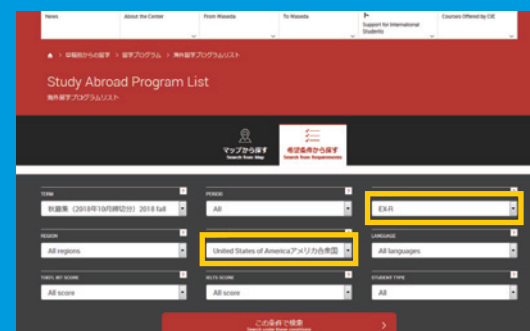
「どんな留学先があるのか知りたい」
「必要な語学スコアはどこを見ればわかるの?」
そんなときは、プログラムリストを見よう。

早稲田 留学センター



Click! 「Program List (長期留学プログラム検索)」をクリック!

たとえば、「アメリカ合衆国」「EX-R」と指定して絞り込むと...



該当プログラム一覧が表示されるので、「Details」から各大学の詳細もしっかりチェックしよう。各項目の意味を確認するには、「?」をクリック!

※情報は毎年変わるため、出願前に必ず最新情報を確認しましょう!

検索画面で、条件を入れて検索してみよう! たとえば、「PROGRAM」→ EX-R、CS-L など。P2を参考にしてみよう。「COUNTRY」→ 行きたい国はどこ? 「LANGUAGE」→ 言語からでも絞り込める。



海外留学奨学金・教育ローン

早稲田 留学 奨学金



※応募方法・最新情報は、留学センター Web ページを参照してください。
※内容は予告なく変わる場合があります。

留学センターが窓口となる奨学金 (すべて給付型の奨学金です)

奨学金名称	対象	奨学金	採用予定数
【学内】早稲田の栄光奨学金 (予約採用型)	DD,EX,CS プログラム参加者	留学期間1年: 総額110万円 留学期間1セメスター: 総額50万円	15名
【学内】校友会海外派遣留学奨学金	CSプログラム参加者 (留学先: オックスフォード大学、イェール大学、ペンシルバニア大学/留学期間: 1年)	総額150万円	5名
【学内】WSC メンバーズ基金 グローバル人材育成奨学金	DD,EXプログラム参加者 (留学期間: 1年)	総額100万円	10名
【学内】高城幹記念海外留学奨学金	DD,EX,CS プログラム参加者 (留学先: 米国)	総額100万円	2名
【学内】千田吉郎記念海外留学奨学金	CSプログラム参加者	総額100万円	2名
【学内】ハワード・ハギヤ奨学金	DDプログラム参加者 (留学先: 台湾)	総額80万円	2名
【学内】学生交流奨学金	DD,EX,CS, 箇所間プログラム参加者	総額25万円	150名
【日本学生支援機構】海外留学支援制度 (協定派遣)	DD,EX,CS, 短期プログラム参加者 ※別途、学部・研究科毎に実施しているプログラムも一部対象になります	月額6~10万円 (留学先地域による)	年度により異なる

ご参考>

トピタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム	日本国籍を有する学生または日本への永住が許可されている学部生・大学院生。 ※留学センターに応募書類を提出後、文部科学省・日本学生支援機構による書類審査・面接審査が行われます。 募集時期は留学センターの派遣選考と連動していませんのでご注意ください。	月額6~16万円 (家計基準および留学先地域による) その他、往復渡航費と留学先大学の授業料の一部を支給。	未定
--------------------------	---	--	----

※その他、財団等による学外奨学金も多数あります。

奨学課が窓口となる奨学金 (貸与型の奨学金です)

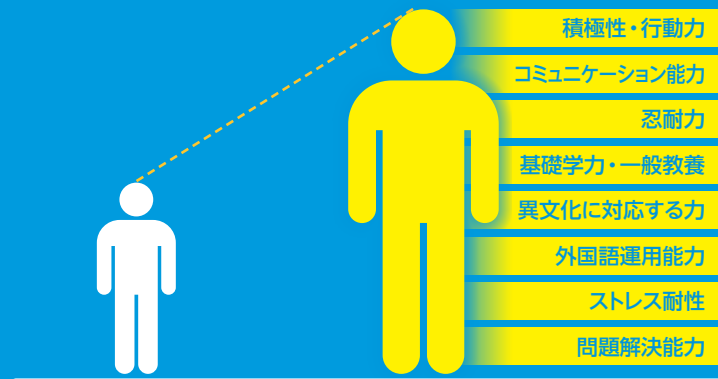
奨学金名称	対象	支給金額	採用者数
日本学生支援機構第一種奨学金 (海外留学支援制度: 協定派遣給付者対象) ※無利子	海外留学支援制度 (協定派遣) を3ヵ月分以上受給して留学する学部生・大学院生。	貸与月額: [学部生] 3万円、5.4万円、6.4万円から選択 [修士課程] 5万円、8.8万円から選択 [博士課程] 8万円、12.2万円から選択	未定
日本学生支援機構第二種奨学金 (短期留学) ※有利子	海外の大学・大学院へ短期留学をする学部生・大学院生 ※ここでの「短期」は1~12ヵ月の留学を指します。	貸与月額: [学部生] 3万円、5万円、8万円、10万円、12万円から選択 [大学院生] 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択 (法務研のみ19万円、22万円も選択可)	未定
国の教育ローン	一部の金融機関では教育資金を貸し付ける教育ローンを提供しています。 日本政策金融公庫「国の教育ローン」: 電話 0570-008-656		

※奨学課に応募書類を提出後、日本学生支援機構による書類審査が行われます。募集時期は留学センターが窓口となる奨学金選考と連動していませんのでご注意ください。

留学とキャリア

「留学することは将来の自分にどう生きていくのだろうか？」
 「留学は就職やキャリア形成のうえで有利なのだろうか？」と考える人も多いでしょう。
 このページでは、留学とキャリアのつながりについて考えます。

Q 留学でどんな能力が身に付く？



留学非経験者 (1,298人)

「大学・大学院の学生生活で、次のような能力が向上したと思いますか」に対し、「つよく思う」「そう思う」「そう思う」と回答した学生の割合。

留学経験者 (4,489人)

「留学の結果、次のような能力が向上したと思いますか」に対し、「つよく思う」「そう思う」と回答した学生の割合。

(出典) 横田雅弘 (2016) 「グローバル人材育成と留学の長期的なインパクトに関する調査」
 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A)

Q 社会に出てからも、身に付けた能力は役立つ？



企業が学生に不足していると思う能力要素

留学非経験者

留学経験者

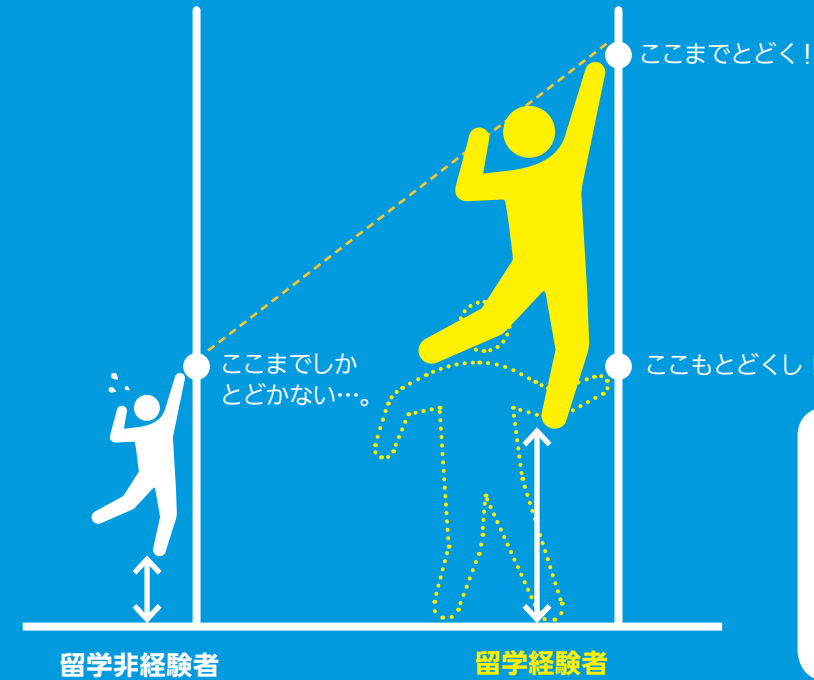
企業が学生に不足していると思う能力と同じような能力を、留学によって身に付けられることがわかるね！

(出典) 経済産業省 (2010) 「大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査」

San Francisco

New York

Q まだキャリアって考えていないけど…?



キャリアのことを具体的に考えていなくても、「留学がキャリア設計の上で助けになった」と答える先輩は多いんだ。

将来やりたいことが決まっていなくても、留学で多くの能力を身に付けることで、選択肢を増やすことができるよ！



筒井 智之さん
Tsutsui Tomoyuki

2016年秋 人間科学部卒業
 2013年秋～1年間 中国・復旦大学 DD (ダブルディグリー) プログラムにて留学、上海・北京にて4か月インターンシップを行なう
 2015年秋～半年間 ケニアにてインターンシップを行なう、トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム第3期生
 現在は人材・教育業界にて勤務



・どうして留学しようと思ったのですか？

中国留学を考えた理由としては、まず、高校から中国語の授業があったためそもそもなじみがあったことがあります。また、DDは難易度の高いプログラムと聞いていたので、厳しい環境にチャレンジしたかったこと、またそれによって周囲との差別化が図れると思ったことも理由の一つです。
 そして中国への留学中に、ある日系のボイラーメーカーでのインターンを通じて、水問題に興味を持ちました。それをきっかけに日本で水ビジネスに関わる企業に興味を持つも、自らが当事者となって水に困った事がないと思いました。そこで自らが当事者となって水に困り、その上で、水問題を解決したいと本気で思えばその道に進もうと思ひ、ケニアへのインターンを決意しました。

・留学中に就職に関する何らかの活動をしましたか？

当時は中国とケニアでの留学経験を活かせるような世界で仕事ができそうな商社業界等を中心に見ていたので、現地で自ら動いて、現地に駐在されている商社の方やJICAの方等にOB訪問させて頂きました。また、帰国後すぐ、就活が始まるとわかったので、自己分析や企業分析等も進めていました。特に使っていたサイトは外資就活ドットコムです。

・留学に行ったことでどのようにご自身のキャリア観が変わりましたか？

留学を通じて、人材・教育業界への興味が広がりました。ケニア現地で水問題も含めた多くの問題に直面した時に、全ては個々がお金を稼ぐことができれば解決できるのではと思いました。そして、なぜ今彼ら彼女らがお金を稼げないのか考えた時に、①働く

場所がない(雇用がない)→「人材」、②働く力がない→「教育」、という2つの課題が自らの中で浮かび、この業界へ興味を持ちました。

・いま働いていて、留学したことはどのように役立っていますか？
 自分で決めてやりきる力、これは今も役立っていると思います。ケニアに行くこと、ケニアで何も無い中で模索しながら自分で決めてやりきった事、これらの経験が今の仕事の中で、ほんの少しですが、役立っている気がします。

・後輩へのアドバイスをお願いします！

学生という特権を思う存分使って、留学中は現地の駐在員、起業されている方、現地企業で働いている社会人の方にどんどん会いに行きましょう。少なからず自分の視野を広げるきっかけになるはずです。ただ、留学すれば、就活に有利になるとかはありません。なぜ行くのか、なにを得たいのか、自分で決めていき、現地でやりきることに価値があると思います。

